



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月4日

上場会社名 ナラサキ産業株式会社
コード番号 8085 URL <http://www.narasaki.co.jp>

上場取引所 東 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 克久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 毎原 吉紀

TEL 03-6732-7355

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	20,456	△2.8	118	—	121	—	54	△88.8
27年3月期第1四半期	21,037	△3.3	△11	—	△10	—	489	896.8

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 179百万円 (△68.8%) 27年3月期第1四半期 575百万円 (673.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	2.08	—
27年3月期第1四半期	18.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	41,595	—	10,672	—	—	24.9
27年3月期	43,277	—	10,679	—	—	23.9

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 10,350百万円 27年3月期 10,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	48,000	3.6	650	40.4	600	31.0	350	△48.1	13.24
通期	102,000	1.0	1,850	2.0	1,850	1.5	1,000	△27.9	37.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	26,628,000 株	27年3月期	26,628,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	151,836 株	27年3月期	161,836 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	26,471,831 株	27年3月期1Q	26,402,059 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成27年5月13日に公表しました業績予想に変更はございません。
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が続き、株高・原油安を背景として個人消費に持ち直しの兆しが見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループでは、平成27年4月をスタートとする中期経営計画 “ADVANCE to the NEXT STAGE” を策定いたしました。本中期経営計画で掲げている基本戦略を着実に実行し、持続的成長を成し遂げるとともに企業の質を高めてまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は204億56百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は1億18百万円（前年同期は営業損失11百万円）、経常利益は1億21百万円（前年同期は経常損失10百万円）となりました。前期では、船舶事故に伴う受取保険金9億円を特別利益として計上しましたが、当第1四半期は特別損益の計上が無く、親会社株主に帰属する四半期純利益は54百万円（前年同期比88.8%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(電機関連事業)

電機関連事業では、太陽光発電システムや高圧電力受電向け等の機器製品の販売が堅調に推移するとともに、レーザ加工機の販売が好調であったことから、前年同期比で増収増益となりました。

以上の結果、売上高は53億29百万円（前年同期比10.4%増）、セグメント利益は1億74百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

(機械関連事業)

機械関連事業では、大型物件の受渡しはなかったものの、予定していた物件の受渡しが順調に進んだことから、前年同期比で増収となり、セグメント損失は縮小しました。

以上の結果、売上高は9億27百万円（前年同期比22.9%増）、セグメント損失1億39百万円（前年同期はセグメント損失1億79百万円）となりました。

(建材・燃料関連事業)

建材事業では、公共工事の減少により発注量が落ち込んだものの、本州地区におけるオフィスビル向けの建築資材の出荷・受渡し等が順調に推移しました。

燃料事業では、ガソリン等の販売数量の確保に努めましたが、価格競争の厳しさもあり、収益面において苦戦が続きました。

以上の結果、売上高は90億62百万円（前年同期比10.4%減）、セグメント損失67百万円（前年同期はセグメント損失51百万円）となりました。

(海運関連事業)

連結子会社のナラサキスタックス(株)では、鋼材・木材などの貨物の取扱いが低調でしたが、効率作業に徹するなどの原価削減により、前年同期比で大幅な増益となりました。

以上の結果、売上高は41億22百万円（前年同期比6.2%減）、セグメント利益は1億66百万円（前年同期比131.4%増）となりました。

(建設機械関連事業)

建設機械関連事業では、工事の減少による設備投資への影響が懸念されましたが、コンクリートポンプ車等の受渡しが順調に進み、業績は堅調に推移しました。

以上の結果、売上高は10億15百万円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益は31百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

なお、当社の連結業績は官公庁向け及び一般民需物件ともに第2四半期以降に売上が集中するため、四半期別の業績には季節的変動があり、第1四半期の利益は低水準になる傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は415億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて16億82百万円の減少となりました。主な要因は受取手形及び売掛金の減少14億87百万円であります。

負債は309億23百万円となり、前連結会計年度末に比べて16億75百万円の減少となりました。主な要因は支払手形及び買掛金の減少16億54百万円であります。

純資産は106億72百万円となり、前連結会計年度末に比べて7百万円の減少となりました。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.0ポイント増加し、24.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日に公表いたしました内容から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,296	5,580
受取手形及び売掛金	20,683	19,195
商品及び製品	639	585
原材料及び貯蔵品	31	33
その他	1,444	1,899
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	29,080	27,282
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,740	5,740
その他(純額)	3,714	3,832
有形固定資産合計	9,455	9,573
無形固定資産		
	89	90
投資その他の資産		
その他	4,660	4,657
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	4,651	4,648
固定資産合計	14,196	14,313
資産合計	43,277	41,595

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,694	19,039
短期借入金	2,200	2,450
1年内返済予定の長期借入金	1,948	1,823
未払法人税等	511	22
賞与引当金	357	76
その他	1,452	2,416
流動負債合計	27,163	25,828
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	1,738	1,629
役員退職慰労引当金	100	15
特別修繕引当金	46	51
退職給付に係る負債	1,002	974
その他	2,347	2,223
固定負債合計	5,434	5,094
負債合計	32,598	30,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354	2,354
資本剰余金	1,322	1,324
利益剰余金	6,154	6,024
自己株式	△20	△19
株主資本合計	9,811	9,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	351	460
繰延ヘッジ損益	1	1
退職給付に係る調整累計額	198	203
その他の包括利益累計額合計	552	666
非支配株主持分	315	321
純資産合計	10,679	10,672
負債純資産合計	43,277	41,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	21,037	20,456
売上原価	19,268	18,573
売上総利益	1,769	1,883
販売費及び一般管理費	1,780	1,765
営業利益又は営業損失(△)	△11	118
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	18	22
受取賃貸料	17	17
持分法による投資利益	2	3
その他	6	5
営業外収益合計	49	52
営業外費用		
支払利息	25	27
その他	23	21
営業外費用合計	49	49
経常利益又は経常損失(△)	△10	121
特別利益		
投資有価証券売却益	3	—
受取保険金	900	—
特別利益合計	903	—
税金等調整前四半期純利益	892	121
法人税、住民税及び事業税	339	8
法人税等調整額	1	48
法人税等合計	341	57
四半期純利益	550	63
非支配株主に帰属する四半期純利益	61	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	489	54

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	550	63
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	110
繰延ヘッジ損益	△1	0
退職給付に係る調整額	10	4
その他の包括利益合計	25	115
四半期包括利益	575	179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	513	169
非支配株主に係る四半期包括利益	62	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	建設機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	4,829	755	10,119	4,393	940	21,037	—	21,037
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	143	0	—	144	△144	—
計	4,829	755	10,262	4,394	940	21,181	△144	21,037
セグメント利益又は セグメント損失(△)	157	△179	△51	71	32	30	△41	△11

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△45百万円、セグメント間取引消去額3百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	建設機械 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高								
外部顧客への売上高	5,329	927	9,062	4,122	1,015	20,456	—	20,456
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	153	1	—	155	△155	—
計	5,329	927	9,215	4,124	1,015	20,612	△155	20,456
セグメント利益又は セグメント損失(△)	174	△139	△67	166	31	165	△46	118

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△48百万円、セグメント間取引消去額1百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。